

所属校種	校内（教科部会や学年会でも可）の共通実践としてやってよかった（効果があった）事例を記入してください。
特別支援学校	学部ごとにクラスルームを作成し、児童生徒の状況や授業等に関する情報を共有することにした。それによって、共通認識を持った上で指導にあたることができ、児童生徒の安心感にもつながった。
特別支援学校	教科部会でその教科におけるICT活用動画を視聴することを取り入れたことで、意見交換や各学部での実践例を挙げながら協議できたこと。
特別支援学校	生活単元学習で動画教材（自作のもの等）をファイルフォルダに入れておくことで、授業場面だけでなく、休み時間でもその動画を見て学んだり、楽しんだりできた。（学年）
特別支援学校	各自が作成したデジタル教材を共有・閲覧できるようにしたことで、授業づくりの参考にできるようになった。
特別支援学校	スイッチ教材の制作、活用研修会や、視線入力システムを使った授業実践の共有などを通して重い障がいを持つ児童生徒の支援についてスキルアップすることができた。
特別支援学校	教員間の連絡、職員会議に日常的にTeamsを活用している。高等部の進路学習会でWEB会議システムで外部講師の講習を受けた。各学部で学校間交流にZoomなどWEB会議システムを活用した。
特別支援学校	ジャムボードやロイロノートを使って、他の生徒の意見や例文等を共有した。リアルタイムで他者の意見を知ったり、自分の意見の参考にしたりすることができ、考えを深めるきっかけとなった。
特別支援学校	小学部、高学年の体育で鉄棒の模範写真を児童のiPadにAirDropで送ることにより、児童がそれぞれ自分の挑戦したい種目の模範を見ることが速やかにできた。
特別支援学校	Googleクラスルームを使って、小学部児童にジャムボード教材や学習サイトのリンク集を配付し、素早く授業を進めることができた。教員ではGoogleクラスルームを利用して写真の共有や連絡等新利用した。
特別支援学校	成果 小・中学部では、児童の活用よりも授業を進める上でのサポート・補助具としての機能を追求しながら、各種アプリを活用することで発語のない児童とのコミュニケーションや言語理解にICT機器が有効であるという認識を広げることができた。また、児童・生徒の実態に合わせた国語や数学でのアプリ学習により、既習内容の復習や動画を活用したテーマ提示など、ICT機器の有用性を全体で共有することができた。
特別支援学校	機器やアプリの情報を共有できたことで遠隔・共同学習が行いやすくなった。